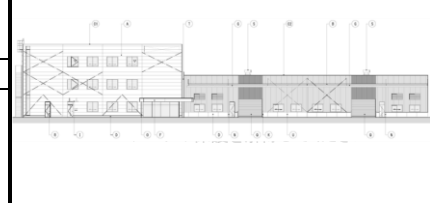


| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------------|--------|------------|
| 建物名称 | アシストV株式会社 本社工場 | 階数 | 地上3F |
| 建設地 | 藤沢市新産業の森北部地区土地区画整理事業4街区の一部 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 工業地域 | 平均居住人員 | 35人 |
| 気候区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 1,940時間/年 |
| 建物用途 | 事務所,工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2016年3月 予定 | 評価の実施日 | 2015年8月10日 |
| 敷地面積 | 4,003 m ² | 作成者 | 大和ハウス工業(株) |
| 建築面積 | 1,261 m ² | 確認日 | — |
| 延床面積 | 2,711 m ² | 確認者 | — |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|--|--|
| 総合 緑の多い計画とし、周辺環境との調和及び環境負荷の低減に取り組んだ。 | | その他 — |
| Q1 室内環境 事務所や食堂にはブラインドを設置し、熱負荷低減に配慮した。 | Q2 サービス性能 業務内容の変化等に対応できるよう、間仕切りの無い空間及びゆとりのある階高を設定し、フレキシビリティの高い計画とした。 | Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に配慮し、周囲の環境に合わせた樹木の選定により緑地の保全を図った。また、緑地を敷地の25%以上の確保に努めた。また防犯性に配慮し、窓の配置や見通しの良いフェンス設置に努めた。 |
| LR1 エネルギー LED照明の採用により、エネルギーの削減を図った。 | LR2 資源・マテリアル 節水型の機器を主要水栓に採用している。 | LR3 敷地外環境 建物周囲に樹木を設置することで、日射遮蔽効果を図った。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される